

平成19年度 第1回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

1 日時 平成19年10月16日(火) 午前10時30分～正午

2 会場 北名古屋市役所西庁舎 4階 第5会議室

3 出席者 22人

<委員12人(欠席3人)・推進本部員9人(市長、副市長、教育長、6部長)・

事務局:教育部長以下5人>

4 傍聴者 なし

5 議題等

(1) 会長、市長あいさつ

(2) 男女共同参画プラン(案)の諮問

(3) 男女共同参画プラン(案)について

(4) その他

6 会議概要

(1) 男女共同参画プラン(案)の諮問

市長から会長へ手渡し その後諮問(写し)を配布

(2) 男女共同参画プラン(案)について

<事務局>

プラン(案)についての説明

P62 女性の登用状況について第3回審議会で「女性委員の登用で1人で複数の委員を兼務している方はいるか」との問いの回答

「平成19年4月1日現在 4兼務=1人 3兼務=1人 2兼務=8人」の状況

・何かご意見はありませんか。

・P24政策方針決定について 市役所の女性職員の管理職登用についてはまだまだ低いということですが、その要因としては女性を育てていないことが考えられますが、ご意見をお伺いしたい。

<推進本部員>

幹部職員に女性が少ないということですが、その要因としては、構成員に女性が少ないこと、女性職員は早期退職が多いということと少ないと考えております。よって、少ないからといって男女の差別はしておりません。

また、人材育成は男女ともに大事で、登用も平等に能力主義ということを実践しております。

・12年前県のプラン策定時にも同じ回答を言われた。女性は育てていない、育てていない。そうだと思います。女性を育成していくという姿勢を示すために登用率の数値目標を示していただきたい。

次にP25の2(2)の記述に「能力ある女性職員の積極的な登用に努めます」という文言を入れ

てほしいと思います。

- ・苦勞して作ったプランだと感想を持ちました。
- ・プランを見せていただいて、学校教育の中で子どもたちにどう(男女共同参画を)教育すべきかいろいろと教職員とも話し合い、意識改革が必要であると感じております。
- ・混合名簿についてもどういう形で導入していくのか、なぜ導入しなければならないのか、男女別が定着しているので混合を導入すると、事務上不便であるとの声が多く聞かれます。具体的にどういう形がよいのかと思います。
- ・P25の2(2)の「性別にとらわれることなく」という言葉は他の言い方はないでしょうか。性別にとらわれないことが、既に性別にとらわれているような気がいたします。
- ・混合名簿は、学校の自主性に任せるということを教育委員会は言っていますが、政策的に誘導する姿勢はないのか。学校内での議論が必要であり、導入を推進しようとする風習が残っているのではないのでしょうか。
- ・育っていく子どもには環境が大きな要因です。小学校から中学校に進んでいき、男の子が1番から、21番から女の子が始まる。女子で後ろの方の苗字の子はいつも最後ですよ。便利だから、慣例だからと男女別名簿を続けていたら、男女共同参画の審議会をやる意味はないと思います。50音であれば、あ行に男の子も女の子も入っているため目に見えてわかりやすい男女平等推進になるものでいいと思います。  
市民ワークショップに参加した者としては、このプランの最初の方に重点目標を記載し分かりやすく書いてあったので良かったと思います。  
また、P9に「期間は10年、適宜見直しを行い進捗状況を報告する」とありますが、区切りをつけることは大事だし、毎年結果報告することは大変いいと思いました。
- ・いろいろ書いてありますが、書いてあるからと言って必ず必要であるとは限りません。この書類を10年で全部見直すと言っても大変なことです。出来るものだけに重点目標を絞ってもらった方がいいのではないかと思いますので一度検討してみてください。
- ・本日欠席させていただいている方の意見
  - …大変いいプランが出来たと思います。今後の効果が大切だと思います。また学校、家族、地域での教育が大切であり男女共同参画意義の啓発を推進していきたいと思います。
  - …DVの窓口の設置を要望します。就労については子育てをしながら働きやすい環境が整っていることだと考えております。
- ・これだけのものを作られるわけですから、一つずつ成し遂げていていただきたい。基本課題1の啓発を重視したいと思います。現在、市から依頼されて男女共同参画推進の情報紙を作っていますが、もっと情報を提供しようとする予算が足りません。その方法として広告を載せたらどうかと思います。一宮、春日井は実施しています。載せる企業は、ファミリーフレンド企業で市の認定を受けた企業にお願いし、一緒に啓発をしてもらうことも考えられるのでは。
- ・P36「就業における男女平等の促進」については、大変重要と思っています。

NHK テレビで世論調査で今年初めて「男は仕事・女は家庭」に反対する人が半数を超えたという番組を放送していました。世の中は女性が仕事を持っていることを希望しているのです。また、経団連の御手洗会長は、その談話の中で「在宅ワークなど働き方を見直し、女性や高齢者の潜在能力を最大限に引き出すことが必要。」と言っています。

私が考えるに人間が職業を持つことは、生計を立て、自己を磨き、社会貢献することだと思います。ですから P4 重点目標にあるⅢ男女の社会参画の支援部分をより分かりやすく具現化されれば、Ⅰの男女平等もⅡのまちづくりも目標に達成できるのではないかと考えます。

- ・基本課題 3「女性や子どもに対する暴力の根絶」が重点目標に上げていますが、特に取り上げられていて良かったと思います。ただ、期間が10年と聞くと、現状で暴力を受けている人もいるし、女性や子どもだけではなく、「あらゆる人々に対する」でいいのではないかと思います。

また、P17の1(2)①の高齢女性、障害のある女性、外国人女性等の「女性」に違和感があるのでみなさんのご意見を伺いたい。

- ・先ほどの答弁で市役所の女性職員が早期に辞めるとありましたが、ここが問題でしょう。これを放置しておくとう幹部職員にはなれません。ここをどう支えてあげるのが一番大切だと思います。北欧では議会の半分ぐらいが女性で、そのために社会制度が充実していると思っています。
- ・P17のDVに関しては、女性の被害者は多いが最近は男性も占めてきています。また、児童生徒の虐待は男女関係ないし、総合計画で「あらゆる暴力の根絶」を謳われるのなら、連携するほうがいいのではないのでしょうか。
- ・「女性」だけ目立ってしまうのはいかがなものかと思います。
- ・現状では男性が女性に暴力を振るうことが圧倒的に多いのでこのままでいいと思います。
- ・虐待の相談、DVの件数が少ないようですがなぜでしょうか。シェルターがあれば相談に行けるとしますので、そういうことも大事だと思います。
- ・今までの委員意見について市役所のご意見をうかがいたい。

#### <推進本部員>

審議会委員への女性の登用は市民の半数が女性であることから困難なことではないと考えます。しかし、先ほども言いましたように、市役所の状況は違います。構成員に女性職員が少なく早期に退職する現状です。管理職登用は能力主義・実力を判断しますので数値目標はなじまないと思います。機会の均等は当然のことですので「性別にとらわれることなく」行います。

- ・数値目標はなじまないというご意見は認めますが、数値は市役所が職員の育成に努めますという姿勢の現れになります。現在8.7%の女性登用率であるので、10%くらいは目指せませんか。固定観念に固執されず柔軟にお考えいただきたい。P37の「市役所が男女共同参画モデルとなる」とありますが相反しいかがなものではないのでしょうか。

#### <推進本部員>

「市役所が男女共同参画モデルとなる」というのは、働きやすい環境を整えることであると理

解しています。現在策定を進めている「特定事業主行動計画」で残業への配慮など環境を整えます。登用率について根拠のない数値を目指すことはできません。

- ・10年目標を作るときになじまないという回答はいかなるものか。
- ・大学でも、男女平等、女性の登用について取り組んでいます。例えば、教授会では議長を女性にしています。ですが、「能力がある女性」とはどう判断するのでしょうか。上司の判断だけではいけません。能力を引き出す方策を考えることが肝心でしょう。

#### <推進本部員>

登用に性別は関係ありません。職員の年齢構成・男女比率をお考えいただきたい。管理職候補に手を上げる女性は少ないのが現状です。

- ・市役所の女性管理職登用について数値目標を掲げていただきたいというのが審議会の意見です。また、P17の暴力の対応、P25(2)の“性別にとらわれることなく”の文言についても再考を求めます。他にご意見はありませんか。
- ・就業に関して厳しい労働環境にあることは承知していますが、市のキャッチフレーズ“健康快適都市”の根源をなす部分と考えるので「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を具体的に・市策体系図に入るよう再考していただきたい。
- ・それでは、以上を本日の審議会意見とします。今後のスケジュールにもありますよう、パブリックコメントを経て次回の審議会でも市役所の修正案を審議したいと存じます。よろしくお願ひします。

#### 7 その他

- (1) 国立女性教育会館主催「男女共同参画のための研究と実践交流推進フォーラム」参加報告
- (2) 事務局より事務連絡

<閉会 正午>